

参議院議員選挙勝利に向けての政策協定書

- 1、安倍政権が進めようとしている憲法の「改定」とりわけ第9条の「改定」に反対すること。
- 2、特定秘密保護法、共謀罪法、安保法制など安倍政権が成立させた立憲主義に反する諸法律の廃止をめざすこと。
- 3、福島第一原発事故の検証と道民の合意がないままでの原発再稼働を認めず、新しい日本のエネルギー政策の確立と地域分散型エネルギー体制の確立によって、できるだけ早期に原発ゼロ社会の実現をめざすこと。
- 4、森友・加計学園問題、公文書改竄、日報隠蔽、統計不正などの疑惑を徹底究明し、透明性が高く公平な行政の確立をめざすこと。
- 5、子ども・若者がすこやかに育ち・学び・働くことを可能にするための保育、教育、雇用に関する予算を拡充し、積極的な政策を推し進めること。
- 6、すべての働く者が安心して働くことができるルールを実現し、貧困・格差を解消して生活を底上げできる経済・社会保障政策の確立をめざすこと。
- 7、男女の雇用差別や賃金格差・地域格差を撤廃することに取り組むこと。
- 8、LGBTsをはじめとする、あらゆる差別の解消に取り組むこと。
- 9、2019年10月に予定されている消費税引き上げを中止し、所得、資産、法人の各分野における総合的な税制の公平化を図ること。

私たちは、以上の基本政策において合意し、その実現のために参議院議員選挙での勝利に向けて、ともに全力で闘います。

2019年6月 日

戦争させない市民の風・北海道

立憲民主党北海道

国民民主党北海道

日本共産党北海道委員会

社会民主党北海道連合

参議院議員選挙勝利に向けての政策協定書

- 1、安倍政権が進めようとしている憲法の「改定」とりわけ第9条の「改定」に反対すること。
- 2、特定秘密保護法、共謀罪法、安保法制など安倍政権が成立させた立憲主義に反する諸法律の廃止をめざすこと。
- 3、福島第一原発事故の検証と道民の合意がないままでの原発再稼働を認めず、新しい日本のエネルギー政策の確立と地域分散型エネルギー体制の確立によって、できるだけ早期に原発ゼロ社会の実現をめざすこと。
- 4、森友・加計学園問題、公文書改竄、日報隠蔽、統計不正などの疑惑を徹底究明し、透明性が高く公平な行政の確立をめざすこと。
- 5、子ども・若者がすこやかに育ち・学び・働くことを可能にするための保育、教育、雇用に関する予算を拡充し、積極的な政策を推し進めること。
- 6、すべての働く者が安心して働くことができるルールを実現し、貧困・格差を解消して生活を底上げできる経済・社会保障政策の確立をめざすこと。
- 7、男女の雇用差別や賃金格差・地域格差を撤廃することに取り組むこと。
- 8、LGBTsをはじめとする、あらゆる差別の解消に取り組むこと。
- 9、2019年10月に予定されている消費税引き上げを中止し、所得、資産、法人の各分野における総合的な税制の公平化を図ること。

以上の基本政策について、〇〇〇〇と戦争させない市民の風・北海道との間において合意し、その実現のために参議院議員選挙での勝利に向けて、ともに全力で奮闘する。〇〇〇〇は、当選後、国政の場において上記政策の実現にむけて全力を尽くして行動することを誓約する。

2019年6月 日

参議院議員選挙北海道選挙区立候補者

戦争させない市民の風・北海道